

第1回清瀬市市民活動未来ビジョン検討会議事要旨

I. 開催日時

日時：令和7年7月23日（水）午後2時～午後5時

場所：本庁舎4階 研修室

II. 出席委員

佐藤会長、中村副会長、吉田委員、石井委員、國井委員、岩崎委員、重富委員

事務局：地域振興部長、市民協働課長、協働係長、市民協働課主査

オブザーバー：きよせボランティア・市民活動センター長

III. 配付資料

- ①第1回 清瀬市市民活動未来ビジョン検討会 次第
- ②清瀬市市民活動未来ビジョン検討会委員 名簿
- ③清瀬市市民活動未来ビジョン検討会設置要領
- ④清瀬市市民活動未来ビジョン検討会傍聴規程
- ⑤協議事項 資料
- ⑥令和5年度ボランティア・市民活動団体の実情に関する調査報告書
 - 概要版
- ⑦社会福祉法人清瀬市社会福祉協議会 令和6年度 事業報告書
抜粋
- ⑧清瀬市市民活動未来ビジョン検討会 きよせボランティア・市民活動センターの登録団体アンケート（案）
- ⑨清瀬市民活動センターの設立に向けて 清瀬市市民活動支援センター（仮称）開設準備委員会 報告書
- ⑩清瀬市ボランティア・市民活動ガイドブック2023

IV. 議事

1 市長挨拶

2 自己紹介

3 会長、副会長の選任

互選により佐藤委員を会長、中村委員を副会長に選任

4 協議事項

(1) 市民活動の現状と課題について

- 会長 現在、ボランティア・市民活動センターとして運営しているが、今回は市民活動センターだけにフォーカスして議論すればよいか。
- 事務局 それでよい。
- 委員 ボランティアセンターと市民活動センターには、それぞれの特徴があるが、重なっているところもある。市民活動センターは団体への支援をしっかり行っており、グループでの活動を想定している。ボランティアセンターもそう言った機能を有するので、切り分けて話す必要はないと思う。
- 副会長 市民活動センターとボランティアセンターを分けず、活動に取り組んでいる多くの人を支援できるように進めていきたい。
- 会長 この検討会では、市民活動を考えつつ、ボランティアの部分も話し合っていくというような進め方はどうだろうか。
- 事務局 その方針で進めていただきたい。
- 委員 資料にボランティアについてが記載がないので、今後、追加していただきたい。また、本日の会議はどこまで話し合うか確認したい。
- センター長 ボランティア・市民活動ガイドブックにボランティアと市民活動の違いを記載している。大きな違いとしては、市民活動は団体で見ており、ボランティアは個人で見るというところが違いだと思う。
- 委員 個人としてはボランティアだと思っているが、団体に入っているから市民活動になってしまったのだと思った。ただ、市民活動を行っている人達はボランティアだと思っている人達もいる。
- 会長 まずは、市民活動の捉え方、ボランティアの捉え方を別として捉えず進めたいと思う。そもそも、ボランティアや市民活動は行政から縛りを受けるものでは無いと思うし、明確な定義付けはない。
- 委員 ボランティア活動、市民活動で考えると、ボランティア活動の中に市民活動が入ってくる。市民活動で考えると趣味の活動が入るので、ボランティアは趣味の活動ではない。
どちらも活動をするにあたって、若い世代が取り組めない原因は相談、周知方法等に課題があるからだと思う。
- 副会長 コロナ前は年に1、2回活動団体の情報交換会を行っていたが、久しぶりに今年の3月に実施した。意見交換会には現役世代にも

- 参加してほしいが現状難しい。清瀬市で市民活動やボランティア活動に取り組んでいるが、きよせボランティア・市民活動センターに登録していない人もいると思う。
- また、先ほどから意見が出ているボランティア活動と市民活動の定義については不明確だと思う。そのため、すみ分けする必要はないと考える。
- 委 員 市民活動の定義はなく、関わり方の問題だと考えている。定義するとしたら、社会的なミッションがある活動が市民活動である。また、趣味の活動は支援の対象外としてよいと考える。また非営利法人であっても、NPO 法人は幅広い市民参加を想定しているのに對して、一般社団法人は必ずしもそうではないため、支援の対象とするか判断する必要がある。
- 委 員 併せて、一般社団法人は情報公開の部分が NPO 法人とは異なり強制ではないため、金銭の動きが不明確である。
- 委 員 市民活動は団体で、非営利なのは納得できる。一番重要なのは「公益性」である。趣味で行っている活動は市民活動ではないと結論づけてしまうことに疑問がある。健康麻雀の団体は外出の機会や交流が創出され、それは良いことだと思う。ただ、公益性というところで見ると難しいので、公益性の解釈がポイントになると思う。また、市民活動センターの建物が、令和10年を目途に移転される予定になっている。将来像を現状分析しても、市民活動センターが今後、どこになるのかというところが問題になると思う。将来像を描くにも、どこにどのように設置するのかを明確にする必要があると思う。
- 委 員 市民活動センターの将来像の課題は、これから検討することができる。「こうありたい」「こうなりたい」という内容を委員で話し合いたい。「府中市市民活動センター プラツ」など、うまくいっている事例を参考にしていいと思う。予算・場所は重要ではあるが、それについては考えず、将来の絵が描ければよいと思う。
- 委 員 渋谷区の地域共生サポートセンター <結（ゆい）・しぶや>、調布市市民プラザあくろす、武蔵野市の武蔵野プレイスも参考になる。
- 会 長 意見のあった場所に関しては事務局でまとめておいてほしい。「市民活動」については概ね話し合いとして意見が出た。「市民活動センターの将来像」については、ご紹介あった他自治体の施設の資料を整理しながら、次回議論していきたい。「市民活動センターの運営」についてはいかがか。

委 員 運営について、ボランティアと市民活動の切り分ける必要は無いと思うので、ボランティアセンター、市民活動センターを分けず、1つの運営体制にしておくのが望ましいと思う。
現在、きよせボランティア・市民活動センターは現役世代と接点作りのため、土曜日は開館しているが、日曜日は閉館している。接点を作るには、開館曜日、開館時間を考えないといけないと思う。

委 員 清瀬市社会福祉協議会が運営する以前は日曜日に開館し、月曜日を閉館としていた。そのことを踏まえて検討してほしい。

会 長 これまでの内容をまとめると「市民活動」については「市民活動とボランティアの捉え方」が課題となって議論されているので、ここを引き続き次回話し合う必要がある。「市民活動センターの将来像」及び「市民活動センターの運営」については人・もの・予算には限りがあるが、一度そこを考えず、先進事例等を見ながら、清瀬市でできることを整理してもらい議論したい。

(2) 登録団体アンケートについて

委 員 きよせボランティア・市民活動センターの使用団体のニーズを調べるのは賛成である。一方で、市民活動に参加していない方、市民活動センターを利用してない方の意見も大事であるので、次回の会議までにアンケートを行うはどうか。

委 員 賛成である。

会 長 きよせボランティア・市民活動センターを利用していない方からもアンケートを取ってみてはとの意見が出た。事務局として対応できる範囲でアンケートを実施してほしい。

事務局 承知した。

委 員 追加のアンケートでは、きよせボランティア・市民活動センターを運営する方々の意見も聞いてみるのはどうか。

センター長 事実と主観も入ってしまうが、回答することはできる。

会 長 以上のアンケート結果を含めた資料を作っていただき、次回の会議で示してほしい。

(3) その他 なし

5 次回開催
令和7年9月30日（火）午後2時
清瀬市役所 研修室

6 閉会